令和7年第4回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 小中 進

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)上関町周辺1市3町首長会議について	<p>①上関周辺の1市3町の各首長が5月28日、柳井市役所内で今後の対応を協議したと報じられた。この1市3町（柳井市、平生町、田布施町、周防大島町）の首長会議の協議の主たる目的は何か尋ねる。</p> <p>②東町長は、田布施町民の中間貯蔵施設建設反対の実態について、各首長会議でどの様に報告されているか尋ねる。</p> <p>③首長会議では、各首長が上京に合わせて資源エネルギー庁を訪れ報告するとしている。東町長として、どの様な町民の声を伝えるのか、お聞かせ頂ける範囲内で答弁願う。</p> <p>④上関中間貯蔵施設建設の目と鼻の先に位置する光市は、1市3町の首長会議に含まれていない。光市民が大きな関心を示しているにも拘わらず、どのような事で外れているのかお尋ねする。</p>	町長
(2)田布施町内の河川風景と景観について	<p>①田布施平野の真中を堂々と流れる田布施川、その周辺の山や川、森林、田んぼ、畑、そして自然の営みが広がり海へと続く、この田布施川が長年に亘り、つないできた田布施の歴史は、町民の皆さまに愛され、その自然の豊かさや美しさを伝える役目を担ってきた。そこで、田布施川流域の環境整備と保全について、本町としてどの様な施策を取っているのか、基本姿勢を東町長に尋ねる。</p> <p>②東田布施地域の灸川、城南地域の吉井川、西山川、国木地域の国木川、丸尾川、才賀川、麻里府地域の桜川、麻郷地域の奈良台川、平田川など、田布施町内の河川管理についての現状と、地域での高齢化にも対応した中・長期的な取り組みについて尋ねる。</p> <p>③田布施川から平生湾へ続く南周防大橋、そして新八海橋と整備されている。ところが、旧八海橋の残骸が長年にわたり、現状のまま残されている。この様なことは、全国的に見ても極めて珍しく、一日も早く撤去すべきと考える。町長として、長年放置し続けた理由を尋ねる。</p>	町長
(3)通勤ラッシュの緩和と住みたくなるまちづくりに向けて	<p>①早朝の通勤ラッシュ時の現状を認識しているか。主要県道22号光・柳井線は、周防大島町、柳井市、熊毛郡3町から光市、下松市、周南市方面に通勤する車が、朝7時から8時までの1時間で600台以上通過する。ところが県道22号は、麻郷奥～矢田部間、そして上国木地区の道路幅が狭い箇所があり、交通事故も多発している。一刻も早く道路の拡幅を願うばかりです。そこで、現在進行中の県道22号線の上国木地域と麻郷奥道路の県道改良工事の進捗状況と完成見込みを尋ねる。</p> <p>②周南地域と柳井地域の通勤時間の短縮と利便性向上により、田布施町に住みたくなるまちづくりに向けた積極的な施策の取り組みについて、町長のお考えを尋ねる。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 放置ボート港湾管理は	<p>住民が住み良いまち田布施、安心・安全、そして自然環境を守るため、自治体の維持、管理業務について質問したい。</p> <p>放置ボートは、放置空き家と問題の共通点が多い。船は移動が可能で、燃料や潤滑油漏れによる水質汚染という大きな違いがあるだろう。漁業従事者、プレジャー船所有者の高齢化が進み、廃船は今後増加が見込まれる。廃船が放置されるケースも増えそうである。田布施町は廃船状況の何をもって放置と位置づけ、放置と判断すればどのような対応をするのか。県と町の守備範囲はどのようになっているのか。老朽船の放置は、海の安全や防災上のリスク増加、油漏れ等による水質汚染による自然環境悪化が想定される。所有者不明の老朽船の場合、代執行は町がするのか県がするのか。放置等禁止区域の指定エリアはどこか。放置ボートの現状を尋ねる。</p>	町長
(2) 踏切の安全確保について	<p>交通弱者が道路、線路の横断をどうすればより安全にできるのか。踏切の種類に第一種踏切から第四種踏切があり、それ以外に勝手踏切がある。田布施町の地図を広げると、川とJR線路で両サイドが分断されている。人の流れ、物の流れが容易なように川に橋を架け、線路に踏切がある。田布施町には登録されていない橋があるようだが、便利になるように地域住民が申請せずに架けたものと思われる。勝手橋と言えるだろう。勝手橋は費用と労力が必要だから、望む人はあっても架設は簡単ではない。一方、JR線路横断は、線路内に容易に入ることができれば、列車の通行を目と耳で確認し、安全と思えば踏切以外の場所が横断可能である。これが勝手踏切となる。利用頻度は少なくとも遠回りは大変なので、勝手踏切があれば危険を承知で利用する。人間の心理だろう。この、ちょっとした油断と楽をすることが人身事故に繋がっている。田布施町に勝手踏切は存在するのか。また、警報機と遮断機のない踏切の場所、数を把握しているか。</p>	町長
(3) 環境を守りながら倒木対策を	<p>70周年記念事業として、80周年に向けた10年間の植樹計画を作成し、腐食が進んだ古木を伐採し新たに植え替えたらどうか。倒木というリスクを除去し、住民の安心・安全なまちづくりにつなげたい。並木道があることにより散歩を習慣づけ、健康増進につなげよう。健康寿命を延ばすことは医療費の削減にもつながる。植樹事業はふるさと納税、クラウドファンディングでアピールし、資金の確保を目指したい。倒木事故は、自治体の責任となるケースが多い。あってはならない事故で、補償も多額の金額が想定される。町内全域を対象にしたいが、まず、70年が経過している田布施川の桜からエリアを決めて伐採・植樹し、翌年は次のエリアへと始めてみるのはどうか。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)自治会の在り方検討を</p>	<p>少子高齢化の進む日本。田布施町にとっても大きな課題である。減るのは仕方がないという考え方がある。そして移住定住を考える前に、まち作りをしっかりと取り組んだ結果が、関係人口の増加から移住につながるべきである。4月26日、議員として初めて、予算の説明と意見交換会を城南公民館で持った。その際、高齢化により自治会運営が非常に厳しい現状をお聞きした。自治会は、共助という部分を担う、なくてはならない組織であるが、加入率の低下や担い手不足は否めない。自治会設立当初の昭和とは取り巻く状況は大きく変化している。会長になると各種会議への出席や様々な充て職、会費や募金の徴収や行事への動員など様々な業務がある。そうした中、高齢者は体が動かず役ができない。若い世代の加入が減っているという現状を踏まえ、問う。</p> <p>①現在の各自治会への加入率を把握しているか。 ②行政から自治会長への依頼事項、会議などはどれだけあるか。 ③町の自治会に関するルール（ガイドライン）はあるか。 ④自治会の現状に対し、町として検討はしているか。</p>	<p>町長</p>
<p>(2)第3期子ども・子育て支援事業計画の具体的推進を</p>	<p>第3期田布施町子ども・子育て支援事業計画がスタートした。現在、子どもを取り巻く環境も、目まぐるしく変化している。そうした中、5か年計画で子ども・子育て支援の充実を図る計画である。計画は、3つの法律からなる計画を統合したものと理解する。更に上位計画である2つの計画、関連計画として4つの計画、更には、国の基本指針、県のやまぐち子ども・子育て応援プランなど多くの計画などとの整合性を図り策定されている。多くの課が総合的に作り上げた内容だと思う。これからの田布施町を支えていく子どもたちは、日本の未来への希望です。地域こぞって推進していかなければならない。そこで、具体的な内容について問う。</p> <p>①この計画の中で最重点項目は。 ②子ども・子育て支援の対象の範囲は。 ③アンケートのうち、ネットでの回答は何割か。 ④2期計画では、新しい事業や取組には、新規と分かるように表示されていた。今回は表示がないが、新規事業などはないのか。 ⑤今年度、この計画での具体的取組（例年行われているものを除く）は。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)都市計画町道整備と企業誘致について	<p>柳井・平生バイパス道路整備が本格化している。完成後は、渋滞解消や物流生産性の向上等が期待される。そこで、完成は相当先の話にはなるが、町の将来構想の一つとして、国道188号に繋がる町道の整備及び工業団地について伺う。</p> <p>①現在有る鳥越工業団地及び米出工業団地に企業誘致可能な土地は有るのか。</p> <p>②新たに工業団地或いは住宅団地用の土地確保を計画してはどうか。</p> <p>③企業誘致の計画、取組状況はどうか。</p> <p>④都市計画道路は現在11路線有るが、完了している路線は有るのか。</p> <p>⑤長名石鳥越線の計画はどこまで進んでいるのか。</p>	町長
(2)総合計画について	<p>令和3年に策定された、第6次総合計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、今年度が最終年となる。</p> <p>令和7年度にはこの2つを統合し、新たに「たぶせ未来戦略」を策定するとある。そこで、これまでの取組状況及び未来戦略について伺う。</p> <p>①統合する理由は。</p> <p>②総合戦略はそれぞれ検証されていると思うが、多岐に亘るため、その中でも特に成果が得られた事項や特筆すべき点が有れば伺う。</p> <p>③逆に、新たに課題が出てきた事項があれば伺う。</p> <p>④たぶせ未来戦略策定にあたり、策定検討委員会はどういうメンバーで構成されるのか。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)若者の起用による関係人口の創出・拡大を(人口減少対策)</p>	<p>先般開催された桜まつり、萬屋 marifu、キッズチャレンジショップに参加した。どれも若者達が積極的に運営に携わった盛況なイベントであり、関係人口の創出・拡大に寄与している。次代を担う若者達の視点、行動力、情熱、パワーを見て、本町の明るい未来を感じた。</p> <p>さて、総合戦略の基本目標4の①の中で「総合戦略の各施策を効果的に進めるため、行政、地域住民、企業、学生等と協働しワークショップの開催や情報発信、イベント開催等、町民参加型のまちづくりに取り組む。」とあり、まさにこれに即したイベントであった。</p> <p>また、「持続可能で元気で安心して生活できる地域社会を形成するため地域のリーダーとなる人材を発掘し、研修等の支援や取り組む事業への支援を行う。」とある。</p> <p>折しも、政府が地方創生2.0の実現に向けた基本構想の原案の中に「多様な意見をまちづくりに取り入れるため地域活性化を議論する場に若者や女性の参画を求める。」とある。</p> <p>これらを踏まえ、本年、「たぶせ未来戦略(仮)」を策定する上で町として若者達をどう支援し、どう活用し、本町のまちづくりに活かしていくか尋ねる。</p>	<p>町長</p>
<p>(2)遊休地・遊休施設等の有効活用を(人口減少対策)</p>	<p>令和4年12月定例会において質問したが、「たぶせ未来戦略(仮)」を策定することもあり改めて質問する。</p> <p>第2期総合戦略では、基本目標1産業振興による雇用の創出①企業誘致の促進の中で、「企業の新規立地を促進するため、支援制度の充実及び適地の確保を行う。」とある。また、「光ファイバー網を基盤とし空き家空き店舗を有効活用したサテライトオフィス等の設置を検討する。」とある。</p> <p>①企業新規立地のための適地は確保できたか。町有地に限らず民地の適地はあるか。</p> <p>②サテライトオフィス等設置の取組状況はどうか。</p> <p>次に、総合戦略の現状分析によれば、本町をベッドタウンとし、町外へ通勤する傾向が高いとある。これは、本町の住み良さや土地の価格が比較的安価であることが要因だと考えられる。人口の流出を防ぎ、転入者を増やすためにも更なる宅地や住居の確保は必要である。</p> <p>①町有地を宅地として活用する考えは。町営住宅の入居状況は。</p> <p>②民間事業者が、宅地開発しやすくするための町としての取組、支援は。</p> <p>③空き家等の利活用(空き家コンシェルジュの起用)についての具体的な取組状況は。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)田布施駅及び周辺の整備について</p>	<p>町民の皆様から、田布施駅及び駅周辺の整備や利便性の向上等について多くの要望や課題を聞く。また、これまでに私を含め多くの議員から「田布施駅や田布施農工周辺の整備」、「田布施駅の再開発」、「田布施駅のバリアフリー化」、「本町の玄関口に賑わいを」など一般質問がされてきた。そこで、次のことについて尋ねる。</p> <p>①田布施駅へのアクセスを車に依存する人が多いにも関わらず、駐車場が無いため困難を感じると駐車場設置の要望があるため対策を。</p> <p>②広島行の高速バスが運行されていた時は、無料駐車場があり通院や買物で便利だったと聞く。高速バスの再開の見通しは。</p> <p>③駅から豆尾第一踏切までは町道が拡張され安全になった。しかし、踏切から田布施農工までの町道は狭小で歩道もなく、通学時には高校生と中学生が交錯することとなり危険であるため拡張を。</p> <p>④女性の方から、駅のトイレを今風の綺麗なトイレにしてほしいと要望がある。駅舎外にトイレを建設する計画があったがどの様になっているか。</p> <p>⑤ホームと電車の段差解消、バリアフリー化、駅舎の建て替え計画は。</p>	<p>町長</p>
<p>(2)町道の安全対策について</p>	<p>町道（西山・中西線、矢蔵・浜城線）の交差点で事故が多発するなど、町道の安全対策の充実が要望されている。地域全体で協力し、交通安全に取り組むことが大切である。そこで、次のことについて尋ねる。</p> <p>①町道西山・中西線と大田線の交差点、また矢蔵・浜城線と県道光・柳井線の交差点は事故が多発し信号機の要望があるが設置可能か。</p> <p>②減速標識や一旦停止標識などの適切な交通標識で事故防止になると思うが適切に設置されているか。また、どういう基準で設置されるのか。</p> <p>③交通安全対策として、夜間の視認性を向上させるために、危険箇所には街路灯を設置しては。</p> <p>④交通安全上、道路の状態を良好に保つための定期的な点検と維持管理を行い、亀裂や穴や草木の成長による障害を防ぐ必要があるが、どの様に対応されているか。</p> <p>⑤安全運転サポート車の普及により、車線逸脱警報、車線維持支援装置など安全対策が進んでいるが、道路中央線や路肩の白線が消えている場合は作動しないため適切な対応が必要では。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)農業政策について	<p>近年、米の販売価格が上昇し、小売店でも品数が減ってきている。原因は多岐にわたりあると思う。高齢化や収入減による離農、後継者不足も一因である。</p> <p>昨年度提出された「地域計画」では、後継者がいない農地の面積の比率が中四国で60.1%だったが、田布施町の農家は何軒で何%か。地域計画での農家（49経営体）は専業を対象にしているのか。10年前と現在の兼業農家を含めた離農率は分かるか。今後、後継者を増やすためにどのような施策をするのか。農地中間管理機構（農地バンク）は機能しているのか。水田活用の直接支払交付金とはどんなものか。町内の圃場整備もかなり進んだが、今後の作物生産計画はどのようなものか。米以外の特産品は生産できるのか。</p> <p>米価高騰対策として、お米券の配布をしている自治体もあるが町もしてはどうか。山口県産米引換券（やまぐち子育て連盟）とはどんなものか。</p>	町長
(2)まちづくりについて	<p>町にとって、今、人口減対策、まちづくりは早急の課題である。今年度予算案では「田布施町総合計画」と「田布施町まち・ひと・しごと総合戦力」を統合し、「たぶせ未来戦略」を策定する。策定検討委員会を行うが、今までと何が違うのか、何をするのか。</p> <p>まちづくりの一つとして、道の駅が有効である。交流館周辺は①休憩機能（24Hトイレ、駐車場）②情報発信機能（観光情報、道路情報）③地域連携機能（河川公園等）④防災機能（コンテナホテルなど）⑤地域センター（交流館等）があり、登録するための条件はほぼそろっている。道の駅に登録してはどうか。今後、多世代交流施設があってもよい。</p> <p>先日、県内移住者数が発表され、県内移住者は4,578人で、田布施町は32人であった。転出は何人か。転入者を増やすためのアイデア等を未来戦略で検討してはどうか。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) こども議会開催しては	<p>年々、投票率の低下や若い世代の政治への関心の薄さが問題視されている。また、議員の成り手不足も課題。生活と政治は密着しており無関係ではいられないが、それを体感する機会がない。本町では、小学生の議場の見学や、学生にまちづくりのワークショップの開催はされているようだが、こども議会を開催し、しっかり意見が伝えられる場を設けてはどうか。子育て真っ最中の方の悩みが、違う世代にはわからないように、世代が違えば悩みも変わる。子どもたちの声は学校の規則や大人の都合で軽視されがちだが、時代に沿っていないことも多い。近隣では周南市や萩市でこども議会が行われており、町の中の危険箇所や観光面、福祉面など多様な視点があった。よりよい暮らし・田布施にしていく為には、子どもたちの声を聞くことも必要ではないか。全国町村議会の中では、こども議会はまだ少数派。総理大臣を2人輩出した町だからこそ率先して取り組んでみては。</p>	町長 教育長
(2) 若者・子育て世代の集いにも補助を、多世代の集える居場所づくりを	<p>高齢者いきいき館は、町内在住者60歳以上が4人揃ったら施設使用料が無料になるが、若者や子育て世代への集いに補助がある施設がない。また多世代交流拠点もない。お試し暮らし住宅「おいでえ」の稼働率の低さは勿体ない。お試し暮らし住宅と地域の居場所の2通りの利用促進をしては。</p> <p>人は本当に苦しい立場になったとき、ヘルプを出しにくい。安心できる居場所の中で困ったことや相談を小出しにできるとガス抜きになる。極限状態になってから助け出すには技術が必要。居場所はそれを防ぐもの。こども家庭庁「こどもの居場所づくりに関する調査研究報告書」で、こども・若者の居場所づくりにおいて大切にしたい視点は「居ることの意味を問われないこと」「過ごし方を選べること」「くつろげる環境が整っていること」「気軽に行ける、1人でも行けること」などとある。子育て世代や若者と、子育てがひと段落し余裕の出来た大人や退職後の元気な方の組み合わせは非常にいいと思う。官民連携して、誰でも、いつでも行ってもいい、居心地の良い居場所づくりをしては。</p>	町長
(3) 新しい空き家バンクの形を導入しては	<p>不動産会社や空き家バンクに登録するには至らない物件が多々ある。家具や物がある状態で思い入れのある物件、年に1度帰省する為、売買・賃貸できない物件など。それらを、従来の空き家バンク制度ではなく、新しい枠組を作って空き家を募ってはどうか。住みながら空き部屋を貸す賃貸併用住宅、転勤や海外赴任などで一時的に自宅を離れる期間に、家財はそのまま自宅を賃貸に出すリロケーションなど。地域の空き家や空き室を福祉拠点として活用する社会貢献型空家バンク事業という例もある。居住目的だけではなく若者たちの居場所やサークル活動、こども食堂や学習支援・遊び場、多世代の集える居場所づくり、ヨガ教室や英語塾などの事業に活用できるのではないか。二地域居住希望者も対象にしては。町民活動の活性化と関係人口の創出につながり、さらに、使われない空き家の老朽化も防ぐことが出来るのでは。町内で家を探す方も結構いるが見つからず転出されたという声も聞く。一方、この物件を活用しないかという情報もあるので、より利活用されるよう対象の空き家・人を拡充しては。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)自衛隊への18歳住民4情報提供について</p>	<p>自衛隊は、自衛官募集について地方自治体に協力要請している。田布施町は2018年までは18歳住民の氏名・住所・性別・生年月日（4情報）を名簿にして提供していた。2019年からは住民基本台帳の抽出閲覧に切り替えた。しかし、いずれも本人の同意のない個人情報の提供であり、憲法の保障するプライバシー権の侵害に当たる恐れがある。</p> <p>①過去3年間、田布施町が自衛隊に抽出閲覧させた18歳住民はそれぞれ何人か。</p> <p>②自衛隊の「主たる任務」は武力行使であり、隊員には賭命義務、命令服従義務があり、自衛官が単なる職業ではなく「命がけ」が求められる職業であることを認識しているか。</p> <p>③文科省・厚労省通知では、新卒者の就職について「応募の受付は学校又は安定所を通じて行うこと」とし、山口県教委も自衛隊に対し就職ルールを守るよう要請している。山口県では自衛隊が4情報を収集する意義は無いのであり、抽出閲覧させる必要性・公益性はないのではないか。</p> <p>④本人の同意もなしに町が4情報を自衛隊に提供していることを町民が知ったら町政への信頼が揺らぐ恐れはないか。</p>	<p>町長</p>
<p>(2)子育て支援・少子化対策について</p>	<p>少子化対策は町の最重要課題。柳井市は昨年より第1子の保育料を含め完全無償化した。柳井市の今年4月の乳幼児の保育所入所申込者は昨年の2倍となった。柳井市では若い夫婦の定住・転入が増えていると聞く。また、小中学校でのいじめ・不登校は全国的に増大し、これが原因の転校・転居もある。町の『子ども・子育て支援事業計画』は「田布施町は子育てがしやすいと感じることができるように」とすると宣言した。</p> <p>①共働き家庭を支援し、出生数を増やすために保育料の負担を軽減することが必要だという認識、このままでは田布施の若者が柳井に転居しかねないという認識はあるか。</p> <p>②柳井市と同様に第1子から保育料を無償化するにはいくら予算が必要か。また、それを捻出するにはどのような方策があるか。</p> <p>③SWPBS（学校規模ポジティブ行動支援）を小中学校で実施することについて、これに応じる教職員の負担軽減や研修はなされているか。</p> <p>④SWPBSを発展させるために、教職員・保護者・児童生徒による「参加と共同の学校づくり」をすすめることが必要ではないか。</p>	<p>町長 教育長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)高齢者等のごみ出し支援について</p>	<p>高齢者や障がいのある方などの世帯で、「指定されたごみステーションにごみを出すことが困難」との申し出があると聞いた。この状況は今後も増加することが予想される。</p> <p>本町には社会福祉協議会に、困った時にはお互い様の気持ちで支え合う「あいサービス」なる制度があり、ごみ出しについては有償で30分以内200円、30分以上60分以内400円で利用できる。しかし、利用する人とお手伝いできる人のマッチングが課題と聞く。</p> <p>これらを踏まえ、次について尋ねる。</p> <p>①「あいサービス」の登録及び利用状況は。</p> <p>②「あいサービス」を町としてもっとPRするとともに支援ができないか。</p> <p>③岩国市で高齢者等のごみ出し支援事業、周南市で高齢者等のごみ出し支援実証事業が実施されている。どう受け止めるか。</p> <p>④本町においても「あいサービス」が利用できない世帯について、自宅まで、ごみの収集に何う戸別収集ができないか。</p>	<p>町長</p>
<p>(2)地域おこし協力隊の定住・定着について</p>	<p>地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組とある。</p> <p>また、隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年から3年となっている。</p> <p>これらを踏まえ、次について尋ねる。</p> <p>①今まで、本町に何人の隊員を何年間迎え入れたか。そのうち、何人が定住・定着したか。また、任用形態はどうだったのか。</p> <p>②本年度は10月から来年3月までに2名分として約500万円の予算措置がなされ、地域活性化（空き家対策、移住定住）コンシェルジュ、アグリチャレンジ隊員、イチジクアンバサダーの3つのメニューで募集すると聞いているが、現在の募集状況は。</p> <p>③隊員の副業を認める方が、募集に有利と思うがどうか。</p> <p>④迎え入れた隊員の定住・定着が重要だが、作戦はあるか。</p>	<p>町長</p>